

ショベル突っ込み5人死傷 元請け業者が学校訪れ謝罪

2018/2/3(土) 0:58

大阪府で道路工事中のショベルが歩道に突っ込み、下校途中の児童ら5人が死傷した事故で、逮捕された男の会社に工事を発注していた業者らが、児童らが通う学校を訪れて謝罪しました。

容疑者(35)は、聴覚支援学校前の歩道にショベルで突っ込み、5人をはねた疑いが持たれ、支援学校小学部5年生の女兒(11)が死亡しました。

容疑者は現場近くで道路工事に携わっていました。

大阪市から工事を受注し、容疑者が勤める建設会社に仕事を発注した元請け業者が2日、市の関係者とともに学校を訪れて謝罪。

元請け業者は、「こんな大きなことをしてしまって、本当に申し訳ないと思っています」と話しました。

警察は容疑者の勤務先を搜索し、工事の安全管理に不備がなかったかなどを調べる方針です。

容疑者の勤務先など家宅搜索

2018/2/3(土) 0:52

警察は2日、ショベルを運転していた容疑者(35)が勤務する会社や関係先を業務上過失致死傷の疑いで家宅搜索した。

関係書類を押収し、工事の安全管理状況などの確認を進める。

警察によると、ショベルは当時、現場交差点の東側で行われていた道路舗装工事で出たアスファルトのくずを、西側に止まっていたダンプまで運んで積み込む作業をしていた。往復を繰り返していた際に事故が起きたとみられるという。

容疑者は「アクセルとブレーキを踏み間違えた」と供述しており、同署は運転の習熟度を調べている。